

「ともに みらいを ひらく とみひのせいと」

学校教育目標

- ◇社会生活に必要な基礎・基本の定着を図り、自ら学び続ける姿勢を育みます。(知)
- ◇様々な学び合いを通して、豊かな人間関係をつくる力と、未来を拓く精神を育てます。(徳・開)
- ◇学校生活や地域の様々な体験に積極的に取り組む姿勢を培い、個性を伸ばしながら、心身を鍛えます。(体・公)

学校概要	創立 43 周年	学校長 矢田 弘	副校長 張間 直人	3 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 415 人	主な関係校: 並木第一小学校 並木中央小学校 富岡小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	並木・富岡東中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《自分づくりに関する力》 ◇主体的に未来を拓く力 ◇よりよい社会を創る態度	並木中学校 富岡東中学校 並木第一小学校 並木中央小学校 並木第四小学校	①相手(他者)と円滑なコミュニケーションを図れる子ども ②「聴く力」「発信する力」を身に付けた子ども ◆「あいざつ運動」を通して、「児童生徒の目を地域に向け、地域と百分のコミュニケーション」について考える機会を設けます。 ◆相手(他者)を受け止め、自分の考えを深めていくことのできる「聴く力」を意識し、日々の教育活動を行います。 ◆自分と相手(他者)とのかかわりの中で、考えの共通点や相違点を見付け、自分のことを相手に伝えようとする思いがもてるように支援します。

中期取組目標

- ◇夢や目標の実現に向けて、主体的に判断し、実行できる力を育てます。
- ◇社会の変化に対応し、学び続ける意欲と態度を育てます。
- ◇自他の違いやよさを認め、尊重し、互いに高め合うことができる態度を育てます。
- ◇地域活動に積極的に参加し、地域とつながり、社会に貢献しようとする態度を育てます。

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①授業評価を生かして授業改善に努めるとともに、教材の探求や組み立ての工夫をし、分かる授業を行います。 ②少人数授業や、チームティーチングによる授業を生かして、「個に応じた指導」を充実させるとともに、指導と評価の一体化を図り、生徒の学習改善を充実させます。 ③コミュニケーションを大切にし、学びやすい環境を整え、主体的に学習を深められるようにします。
担当 学習指導部	
徳 道徳教育	①「道徳の授業」を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を充実させます。 ②全生徒が「人権作文」を書くことを通じて、人権尊重の重要性・必要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身に付けさせます。 ③学年職員全員でローテーションしての授業を行い、道徳の授業力向上を目指します。
担当 学習指導部	
体 健康教育	①運動をするだけでなく様々な視点からスポーツに親しむことにより、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成します。 ②手洗いや正しいマスクの着用、身の回りの清潔など、感染予防の基本を意識させ、心身の健やかな成長のために、基本的な生活習慣を改善しようとする態度を育てます。
担当 生活指導部	
公開 自分づくり教育 (キャリア教育)	①キャリア教育を3年間継続的にを行い、職業講話や職場体験など、地域を通して学ぶ機会を積極的に設ける。他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高められるようにします。 ②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにします。
担当 特活指導部	
特別支援教育	①さまざまな課題を抱えている生徒の状況を把握し、適切な支援と配慮が行える環境を整え、全職員で組織的に対応します。 ②全職員で合理的配慮の観点を共有し、効果的な支援方法の工夫・改善に努めます。 ③校内ハートフルルームを有効に活用し、誰もが安心して登校できる体制を整えます。
担当 特別支援教育推進委員	
児童生徒指導	①教職員が率先して挨拶を行い、生徒が自ら挨拶できるように指導します。 ②報告連絡相談の徹底と情報の共有を図り、迅速な組織対応を心がけます。 ③生徒の自治活動を大切にしながら豊かな人間関係が作れるように取り組むとともに、生徒や保護者が相談しやすい環境をつくります。
担当 生活指導部	
いじめへの対応	①教職員と生徒や生徒同士の信頼関係を構築し、互いに認め合う人間関係作りを進めることなどにより、すべての教育活動を通していじめが起きにくい風土をつくります。 ②生徒理解に努めるとともに、教育相談やアンケートを実施することで早期発見に努めます。 ③情報を素早く共有し、いじめ防止対策委員会が組織的に迅速に対応します。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンターチームを組織し、定期的に研修を行い、教員の育成を図ります。また、メンターチームの授業を中心に授業参観をし、学習指導と生徒指導等の実践力を高めます。 ②主任会や各会議などでの情報交換や意見交換を充実させます。 ③事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげます。
担当 総務部会教務部	
地域学校協働活動	①地域コーディネーターが運営する地域学校協働本部を中心に、学習支援ボランティアを募り、定期試験時の学習支援事業を実施します。 ②地域と協働で実施する活動を企画し、生徒が地域に関心をもち、豊かな人間関係を体験する機会をつくります。 ③主任児童委員等との連携を図り、情報交換を行い、不登校・いじめ・非行防止に努めます。
担当 生活指導部(専任)	